

## 国際物流戦略チーム 「今後の取組2014-2015(案)」について

# 国際物流戦略チーム 今後の取組 (2014-2015) について

■ 国際物流戦略チームでは、これまで3回にわたって提言や取組の方針をとりまとめてきた。

- ・2007年3月24日 「提言2007」
- ・2009年3月10日 「提言2009」
- ・2012年3月14日 「国際物流戦略チーム 今後の取組」

■ 前回改定から、国際物流戦略チームの取組に大きな進捗が見られたことに加え、国際物流戦略チームを取り巻く状況が急速に変化している。

例えば・・・

- ・ 新関西国際空港株式会社の設立(2012.4)
- ・ FedExによる北太平洋地区ハブの開設(2012.5発表、2014年春操業開始予定)
- ・ 神戸、大阪港埠頭株式会社の特例港湾運営会社の指定(2012.10)及び運営開始(2012.12)
- ・ 関西イノベーション総合特区の第2次計画認定(2012.7)、及び第3次計画認定(2012.9)
- ・ 「総合物流施策大綱2013-2017」の制定

■ このため、本年度の本部会合において、国際物流戦略チームの取組の方針について改めて議論し、「今後の取組(2014-2015)」としてとりまとめたい。

# 国際物流戦略チーム「今後の取組(2014-2015)」<概要>

## 改定のポイント

- ・「総合物流施策大綱2013-2017」や国際物流シンポジウムにおける議論を踏まえ、国際物流を取り巻く現状と課題を記載。
- ・具体の取組は達成/未達成を判別しやすいよう記載。
- ・活動の方向性として以下を提言。
  - (1)「集貨」「創貨」「通貨」に向けた取組の推進
  - (2)民間のノウハウを活用した効率的なインフラ運営
  - (3)産学官の連携強化

## 「国際物流戦略チーム」の活動の方向性

### (1)「集貨」「創貨」「通貨」に向けた取組の推進

国際物流の活性化により関西地域の産業競争力を強化するため、西日本をはじめとする我が国発着貨物を集める「集貨」、新しい貨物を創る「創貨」、アジア太平洋の貨物の流れを呼ぶ「通貨」の取組を進める。

### (2)民間のノウハウを活用した効率的なインフラ運営

「民」の視点を国際物流インフラの運営に導入し、よりユーザーニーズに対応した低コストで高質なサービスを実現できる仕組みを構築する。

### (3)産学官の連携強化

国際物流の現場で生じる課題の収集や施策の立案と効率的な実施に向け、国策としての成長戦略は国が主導的な役割を担いつつ、関西地域の実情を踏まえた取組を産官学が連携して進める。

# 国際物流戦略チーム「今後の取組(2014-2015)」<概要>

## 骨子

### ■改正前の骨子

#### 1. 前文

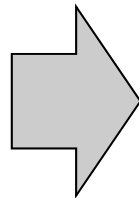
#### 2. 「国際物流戦略チーム」の活動の方向性

- (1) 国際物流の動向を踏まえた活動の必要性
- (2) 地球温暖化対策の動向を踏まえた活動の必要性
- (3) 大規模地震対策の活動の必要性

#### 3. 「国際物流戦略チーム」の取り組むべき課題と具体の取組

- (1) 国際物流の戦略的な強化の推進
  - 1) 総合的な物流機能強化に向けた戦略と取組
- ① 関西地域における総合的な国際物流戦略の策定
- ② ITを活用した効率的なSCMの構築
- ③ 阪神圏における港湾、空港、道路の広域的な経営に向けた枠組みの検討
  - 2) 国際コンテナ戦略港湾としての阪神港の機能強化等
- ① 国際コンテナ戦略港湾・阪神港の目標達成に向けた支援
- ② 国際コンテナ戦略港湾を含めた大阪湾諸港のさらなる連携の推進
- ③ 日本海側のゲートウェイ機能強化策の検討、策定
  - 3) 国際航空物流関係
- ① 貨物ハブ空港実現に向けた関空の機能強化
- ② 新たなビジネスモデルの開拓支援
  - 4) 道路ネットワーク関係
  - (2) CO2等環境対策
  - (3) 大阪湾地域のBCP策定

#### 4. 組織体制のあり方



### ■改定案の骨子

#### 1. 前文

#### 2. 国際物流を取り巻く現状と課題

#### 3. 「国際物流戦略チーム」の活動の方向性

- (1) 「集貨」「創貨」「通貨」に向けた取組の推進
- (2) 民間のノウハウを活用した効率的なインフラ運営
- (3) 産学官の連携強化

#### 4. 「国際物流戦略チーム」における具体の取組

- (1) 事業者による新たな取組の開拓・支援
  - 「阪神港利用促進プロジェクト(仮称)」
  - 「関空物流ニュービジネスモデル促進事業」
  - 「ALL関西「食」輸出推進事業」
- (2) 特区制度の活用
  - 1) 国家戦略特区の活用
  - 2) 国際戦略総合特区制度の充実・深化
- (3) 国際コンテナ戦略港湾「阪神港」の機能強化
  - 港湾運営会社の経営統合
  - 阪神港への集荷
  - インランドポート
- (4) 関西国際空港の機能強化
  - FedEXの拠点整備
  - 医薬品輸送の高品質化
  - エアライン・フォワーダーの誘致
- (5) 総合的な物流機能強化
  - 1) 港湾・空港の連携強化
    - ① 道路ネットワークの形成
    - ② Sea&Air
  - 2) 国際物流を取り巻く多様なニーズへの対応
    - ① 地球温暖化対策
    - ② 大規模地震等への対応
    - ③ 日本海側ゲートウェイ機能の強化

赤字部分: 新規追加事項

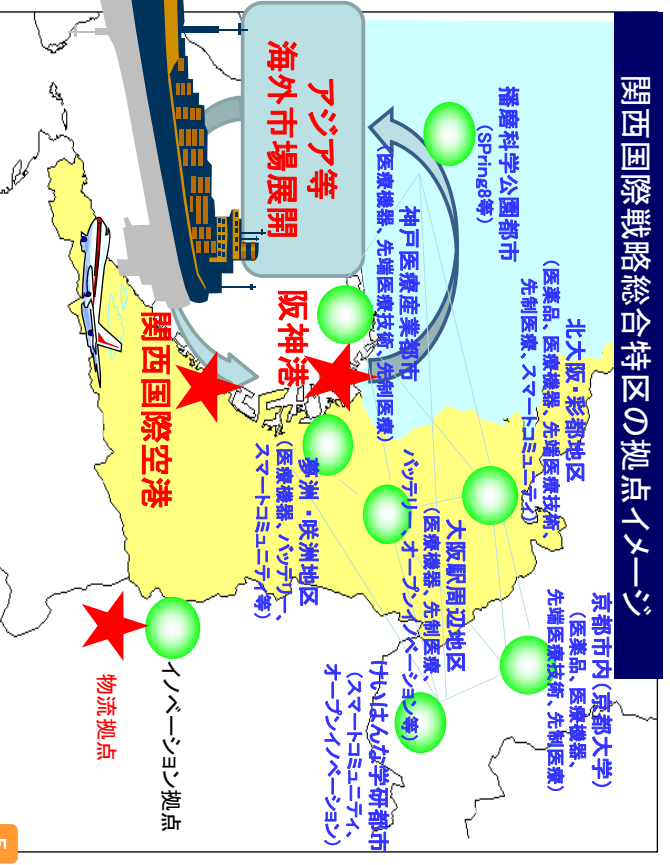
## 【参考】 2011年度版「今後の取組」における主な取組

## 【参考】関西イノベーション国際戦略総合特区

- ① 我が国産業の中枢を担う世界トップレベルの産業と関西の自治体がある区域を越えて一体となって取り組む特区。
- ② 世界水準の豊富な地域資源の活用と徹底した選択と集中により、特区事業を実施する区域として設定している。
- ③ 2013年9月現在、全国トップの59件が認定された。

- 重点的に取り組む6つのターゲット  
でイノベーションを創出
- ① 医薬品
  - ② 医療機器
  - ③ 先端医療技術(再生医療等)
  - ④ 先制医療
  - ⑤ バックリヤー
  - ⑥ スマートコミュニティ

イノベーションの創出を支える  
国際物流分野として  
国際コンテナ戦略港湾「阪神港」、関  
西国際空港の機能強化を推進する。



## 【参考】特例港湾運営会社による効率的な港湾運営

神戸港



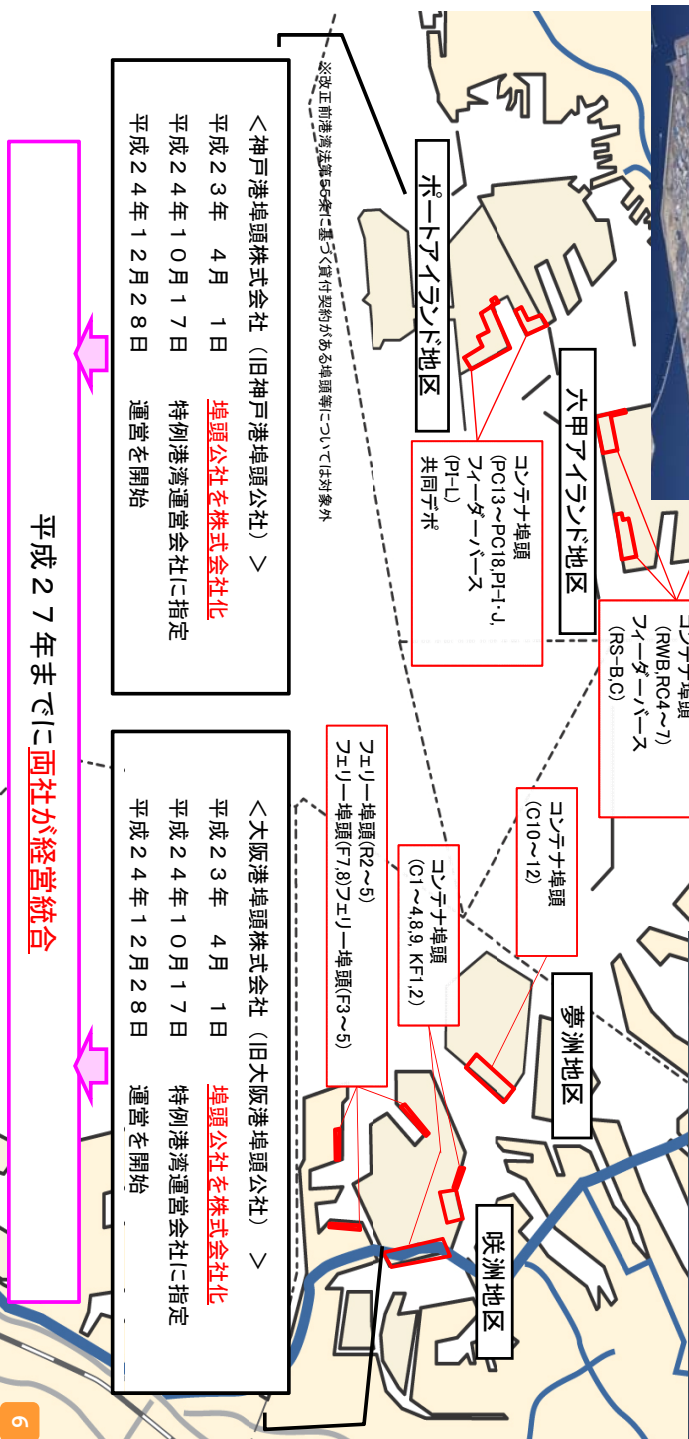
ホートアイランド2期

六甲アイランド

大阪港

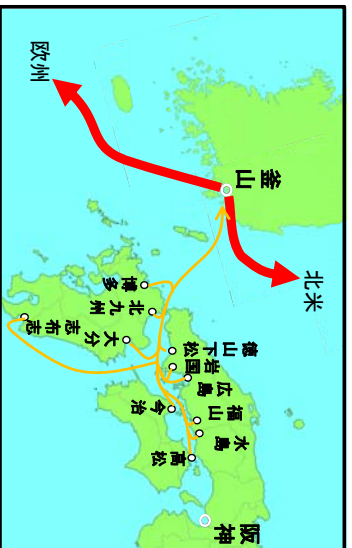


夢洲地区



## 【参考】国際フリーゲーター輸送の強化

・近畿地方整備局及び神戸市は、欧米基幹航路への輸送において、西日本港湾から釜山港など東アジア主要港で積み替えられているコンテナ貨物を、国際コンテナ戦略港湾「阪神港」へと転換するモデル事業を実施中。  
 ・近畿地方整備局では、当該モデル事業を平成23年8月より開始しており、取り扱ったコンテナ数は、約2万6千TEU（平成25年3月末現在）であり、今年度は約8万TEUを目標にしている。



ターゲットは西日本港湾発着の海外で積み替えられている貨物



新規輸送網の構築を目指した内航フリーゲーターモデル事業の実施

### 事業の内容

- 我が国発着貨物を民間企業や港湾管理者との協働のもと、国際コンテナ戦略港湾に集約し、積み替えを行う物流構造に転換する。
- 具体的には、国際コンテナ戦略港湾へのフリーゲーター機能の抜本的な強化を図るべく、**新規に内航航路**を立ち上げ、広域からの貨物集約を進める。

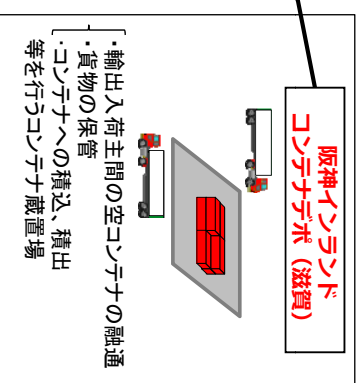
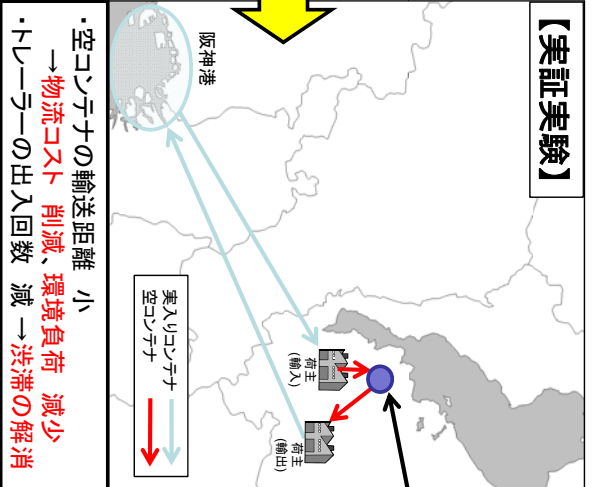
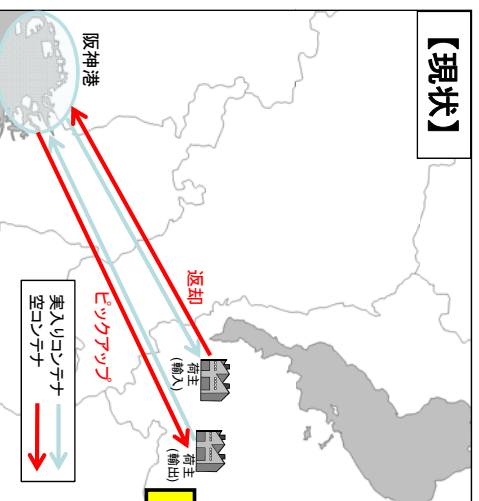


西日本内航フリーゲーター合同会社の大型船「エグルド」

※西日本内航フリーゲーター合同会社とは、港運業者7社の出資により設立された合同会社であり、平成23年5月より運航を開始し、西日本諸港から阪神港への集荷を行っている。

## 【参考】インランドポア実証実験

- ・内陸部からの集荷を促進する施策として、阪神港へのコンテナ貨物の陸上輸送コスト削減を目指すインランドポート実証実験を平成24年10月から開始。
- ・結果の検証、改善策を講じながら、本格事業実施への移行を目指す。



■ 現地写真



**実証実験の概要**

実験期間	平成24年10月～平成26年3月(予定)
設置場所	滋賀県野洲市内
施設規模	約5,000㎡(当初 約3,000㎡)
要 件	性 阪神港を利用するコンテナ貨物

## 【参考】医薬品輸送の取組

徹底した温度管理が可能な **日本の空港初の医薬品専用共同定温庫の整備・保冷クーラー設置**  
 特色ある物流拠点として、更なる空港機能の価値を向上!

### 医薬品専用共同定温庫(KIX-Medica)

2010年9月30日運用開始

日本の空港初



**【施設概要】**

- ◆最大取扱量：約1,200t/月
- ◆管理温度帯：20℃・約650㎡ 5℃・約100㎡

**【特徴】**

- ・医薬品専用の20℃(650㎡)5℃(100㎡)の定温管理
- ・施設内での荷扱きも可能な十分な広さ
- ・定温コンテナ充電器完備
- ・航空機への直接搭載可能な立地

**保冷クーラー**

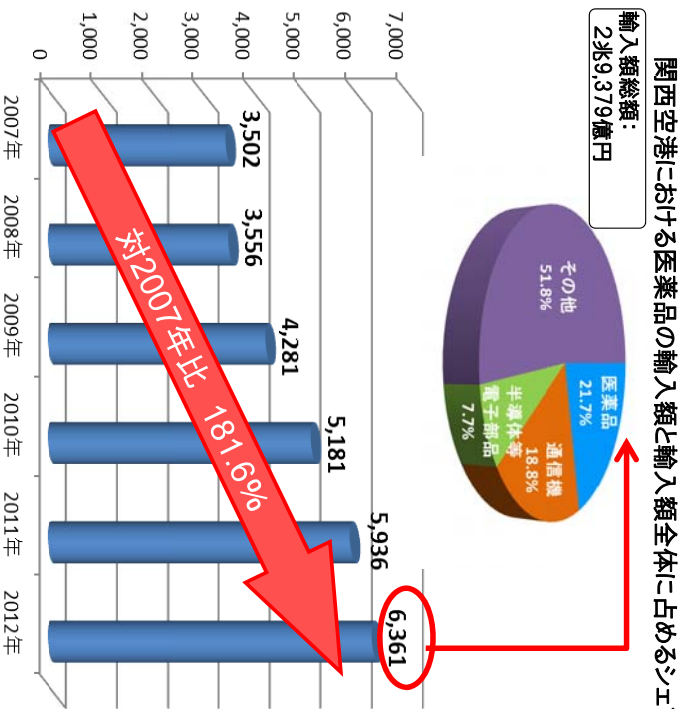
2012年8月～運用開始

日本の空港初



**【特徴】**

- ・高さ160cmまでのパレット
- LD3コンテナの運搬が可能
- ・航空機⇄上屋間の温度管理が可能に。



## 【参考】医薬品輸送の取組

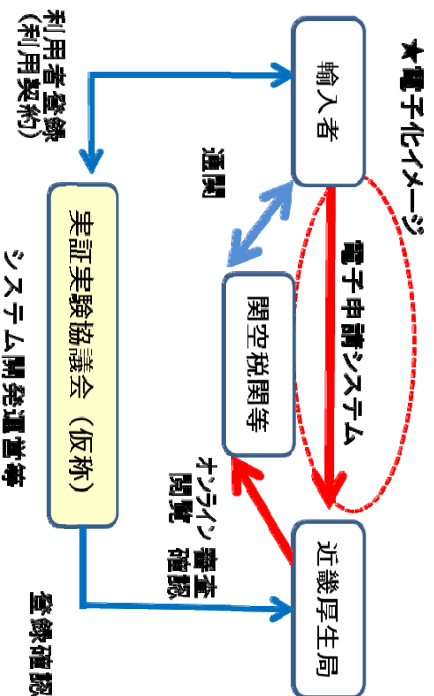
- ✦ 医薬品専用共同定温庫・保冷クーラーを利用した更なる品質向上を目的とした「ガイドライン」の策定
- ✦ 全国に先駆けた「薬監証明電子化」の取組(2013年4月～)

による**世界最高水準のクールチェーン(温度管理)の構築**へ

日本初

### 「薬監証明」の電子化

2013年4月運用開始(3月11日より試験運用)



日本初

### 空港内医薬品輸送の「ガイドライン」

★「医薬品取り扱いにおける現場トレーニング」  
(2013年1月～)

- ・ 医薬企業講師を招き「医薬品」に限定した取扱いの講習会を開催
- 1月30日「貿易のグローバル化と医薬企業の使命」
- でライオン・インターナショナル 代表 松本 修成氏

★「医薬品外装ダメージ処理方法の統一化」  
(2013年2月1日)

・ 各ハウジング事業者(航空会社)による「医薬品」に限定したダメージ処理方法を統一化

最終的には、「KIX-Medical」の完全共同化を目指す！  
(2013年6月～)

## 【参考】「食」輸出事業の取組

- ・ 単県の取組からALL関西への取組へ→関係機関と「食」輸出戦略会議・委員会の立ち上げ
- ・ 民間事業者の「食」輸出事業を行政・地元自治体と一丸となりサポート

### 国際物流戦略チーム

- ◆ 2005年(平成17年)5月発足
- ◆ メンバー：産(関経連、大阪商工会議所ほか)・学(神戸大学名誉教授ほか)・官(総務省、経産省、国交省ほか、関係自治体)から60機関程度

**国際物流連携効率化推進協議会、  
関空物流ニュービジネスモデル設置委員会**

◆ メンバー：(公社)関西経済連合会、大阪航空局、近畿地方整備局、近畿運輸局、新関西国際空港㈱

**ALL関西「食」輸出戦略会議**

◆ メンバー：(公社)関西経済連合会、大阪商工会議所、関西国際空港全体構想促進協議会、新関西国際空港㈱、近畿農政局、近畿経産局、近畿運輸局、JETRO大阪本部、中小機構、近畿、関西地域振興財団

連携

連携

### ALL関西「食」輸出推進委員会

- ◆ 2012年5月立ち上げ
- ◆ メンバー：(公社)関西経済連合会、大阪商工会議所、関西国際空港全体構想促進協議会、新関西国際空港㈱

報告

コーポレート  
アドバイザー

### 関西・食・輸出推進事業協同組合

(関空物流ニュービジネスモデル・  
ALL関西「食」輸出推進事業認定事業者)

大使館  
JETRO

各自自治体

協力機関  
関係事業者



## 【参考】「食」輸出事業の取組

- ・「国内サプライヤーの底上げ」「海外販路拡大」「ロジスティクスの改善」を総合的にサポート
- ・「食」輸出にかかるステークホルダーと連携したプラットフォームの確立



12

## 【参考】「食」輸出事業の取組

### ALL関西「食」輸出推進事業について

- ・関空を活用し、「食」輸出拡大を目的とした民間企業の取組を支援
- ・平成24年度から開始し、平成24年度は5事業を認定（事業開始後は5事業が連携）

### 認定特典

- ・各機関が開催するセミナー、広報誌でのPR
- ・認定事業に対しては、ALL関西「食」輸出推進委員会による各種補助事業への共同提案

### 【参考】平成24年度認定5事業

1	輸出推進協同組合 三井住友海上火災	関西国際空港を利用した「食」輸物品量の拡大 (ALL関西「食」輸出推進委員会と連携した取組)
2	ジャパンフアームプロダクツ	関西国際空港を利用した東南アジア向け贈答用産地直送 高級フルーツカタログ販売事業
3	スターフードジャパン	関西国際空港を利用したヨーロッパ向け「食」輸出事業
4	(株)ナビバード	ネット販売を通じて「食」を世界に広めるプロジェクト
5	JTB西日本	関西ブランド商談会

13

## 【参考】『食』輸出事業の取組

～関西「食」輸出推進事業協同組合の設立(2013年8月29日設立)～

- ・ **日本初！「食」輸出のみ**を手掛ける事業協同組合を設立！（委員会と連携強化！）  
⇒多品目の商品提案、コスト削減を行い、新たな流通ルートを生み出す！

### ◆協同組合の特徴

- A. **大手企業、商社**にはまねできない特徴ある商材と、豊富な品揃え(総合カタログ)
  - 中小企業ならではのこだわりの食材と、品揃えの豊富さ
  - 関西「食」の総合カタログを作成、食材を集中させスケールメリットを出す
- B. **WEB**を用いた商流・物流を融合したプラットフォームを構築
  - サプライヤー・バイヤーをシステムでつなげ、常に最新情報をバイヤーへ提供
  - 更に物流をシステムでつなげる事で出荷スケジュール、納期回答が可能に。
- C. **組合**ならではの多彩な販売ツール  
通常のBtoBビジネスに加え、
  - 海外からの旅行者客へ向けた、エアラインと連携した「機内カタログ販売」
  - “Ninja Food Store.com”(ナビバード)と連携した海外向けネット通販
- D. 各関係機関と連携した海外販路の拡大・マーケティング
  - 海外での観光物産展の開催(2013年度伊勢丹バニコク店、伊勢丹クアラルンプール店)
  - 海外でのBtoB商談会・レストランフェアの開催(2013年度タイ、インドネシア、スリーシア)

14

## 【参考】『食』輸出事業の取組

### サプライヤーの底上げ・国内の裾野を広げる取組—第2回「食」輸出セミナーの開催

2012年4月17日@関西国際空港 177社 261名が参加  
バイヤーとの商談会へ70社が参加(4月17日・18日)

国行政機関による輸出相談会を併催

協力体制：近畿農政局、近畿経済産業局、近畿運輸局、神戸植物防疫所、JETRO、  
各府県、関経連、各商工会議所、関空運輸協、促進協、関空会社



### BtoB商談会—第1回スカオタワコビジネス商談会の開催

2012年7月28日@スカオタワココンベンションホール  
サプライヤー23社と高級ホテルレストランとの商談会  
サプライヤーとバイヤーの購買契約書調印

主催：ALL関西「食」輸出推進委員会 協力：JETRO香港センター  
参加事業者：宇治の露製茶(京都)、ツツオカ(兵庫)、大吉商店(滋賀)  
㈱ひろ(三重・大阪)、生興産業・利州(大阪)、油豊酒店(奈良) 等23社



### マーケティング「海外物産展・文化事業PR」—第2回ALL関西フェスティバルバニコク

2012年8月30日～9月9日@伊勢丹バニコク店  
実演事業者5社、特産品100商材以上を販売。

観光PR・旅行商品の販売

主催：ALL関西「食」輸出推進委員会、大阪観光コンベンション協会  
協力：在タイ王国日本国大使館・JETROバンコクセンター・INTOバンコクセンター  
参加事業者：寿菓子舗(京都)、澤井牧場(滋賀)、㈱ひろ(三重・大阪)、利州・三恒(大阪)  
たこハ、大和産、アソリ(大阪)、博保の糸(兵庫)、マジエスナテッククワイニング(三重)他



15

## 【参考】関西物流ニュービジネスモデルの認定事業

### 関空物流ニュービジネスモデルについて

- ・関空を活用した、国際物流の活性化を目的とした民間企業の取組を支援
- ・平成21年度から開始し、平成24年度までで24事業を認定  
認定特典

- ・各機関が開催するセミナー、広報誌でのPR
- ・認定事業に対しては、関西国際空港全体構想促進協議会より、1事業あたり、  
上限500万円(事業費の1/2)の助成制度。

### 【参考】平成24年度認定7事業

1	AIU保険会社	関空Medica利用の医薬品専用貨物保険
2	エーザイ(株)	関空を中継地とした治験薬輸送の検証
3	エスローズ(株)	関西国際空港を利用した国産和牛輸出事業
4	(株)ナビバード	日本の通販商品を海外へ発送代行する事業
5	JALKAS・ALS・CKTS・SPJ	関空における医薬品輸送の更なる高品質化の取組
6	日本通運(株)	『地産地翔』関西圏の“美味しいもん”生鮮品を関空から
7	阪急阪神エクスプレス	アジアでの輸送業者対象KIX-Medicaプロモーション

16

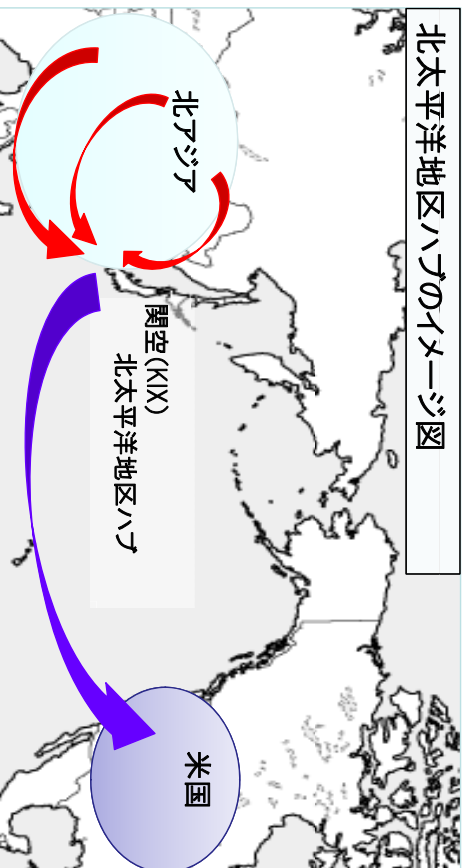
## 【参考】フエデックス北太平洋地区ハブ

### 《フエデックス 北太平洋地区ハブの概要》

フエデックス北太平洋地区ハブは、西日本地域の貨物取扱と、北アジアから集約した貨物を  
米国向けに発送するための拠点。

- ・延べ床面積： 約25,000㎡
- ・業務内容： 通関業務・ランゾオペレーション・仕分け・積み替え
- ・オペレーション： 24時間
- ・運用開始時期： 2014年春頃

### 北太平洋地区ハブのイメージ図

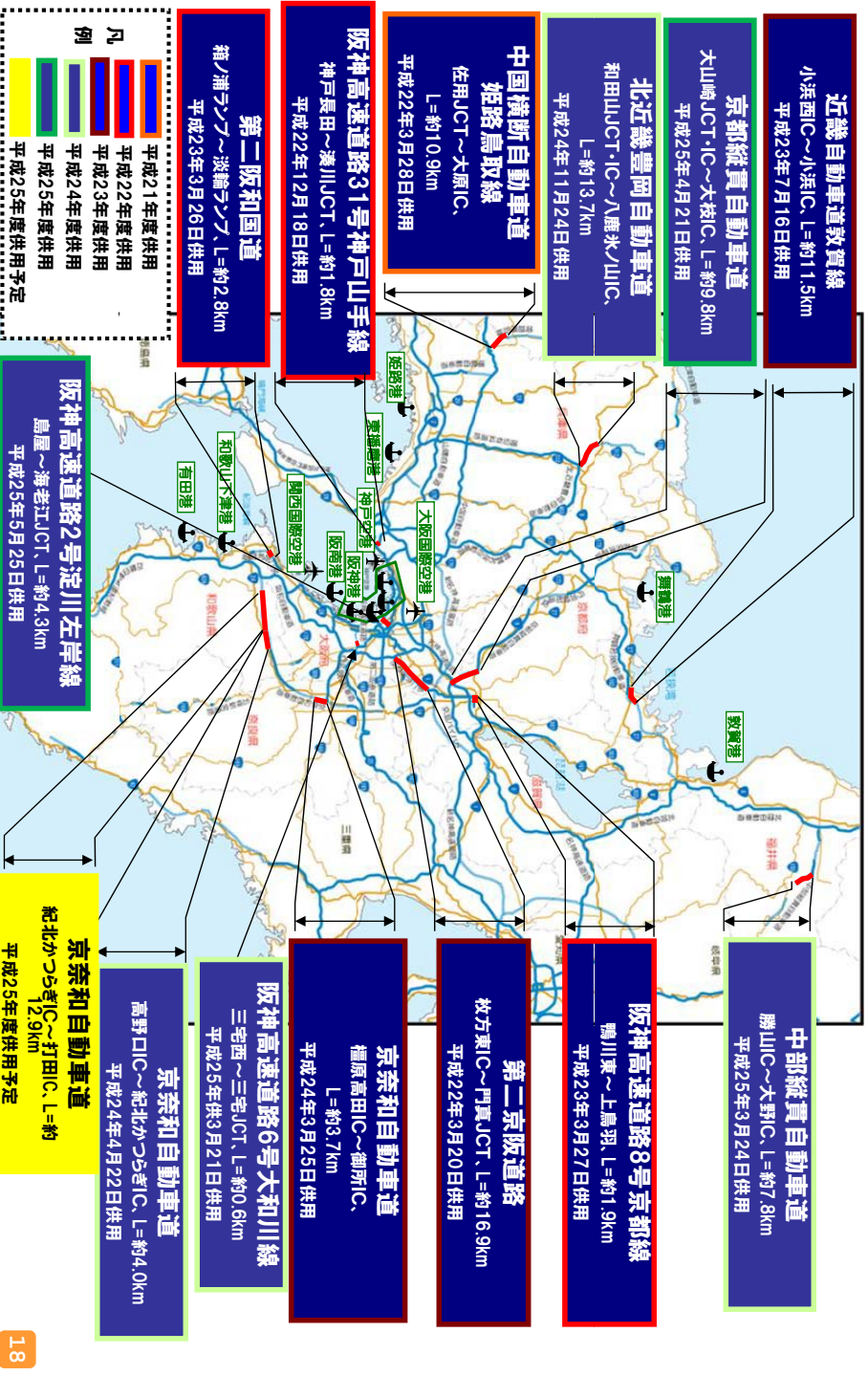


### 施設のイメージ図



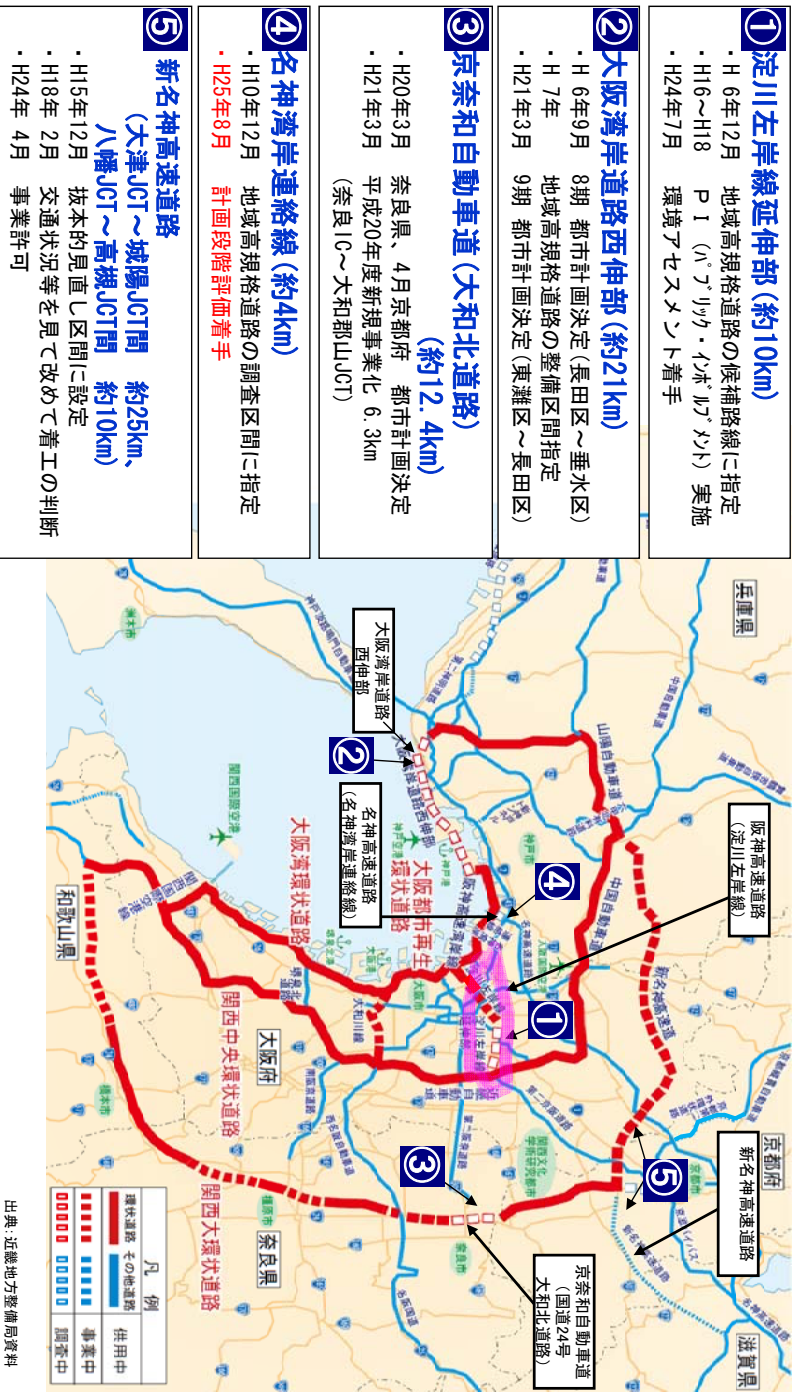
17

【参考】高規格幹線道路等ネットワーク 平成21～平成25年度供用(予定)



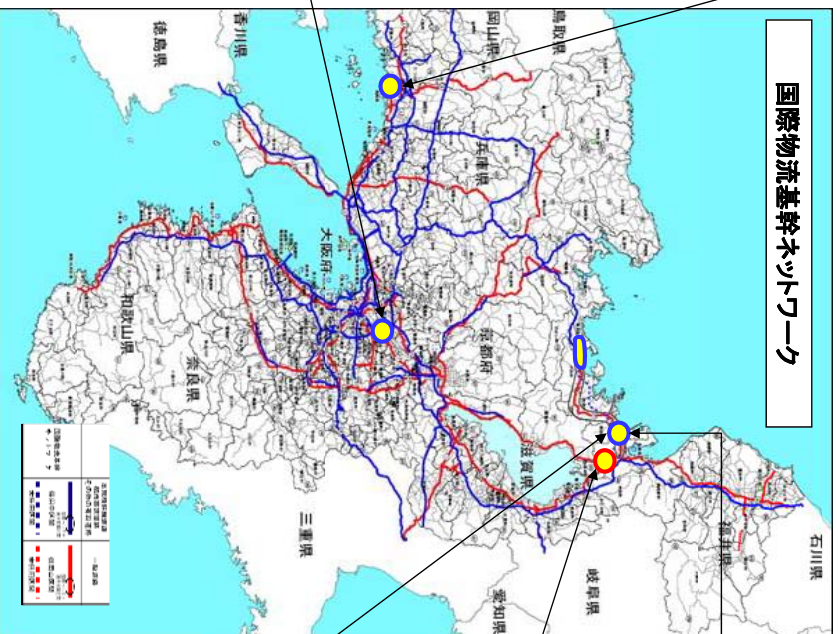
【参考】大阪湾周辺地域の幹線道路ネットワーク

産業・経済の物流拠点が集積する大阪湾周辺地域の幹線道路ネットワークのミツンゲリクネットワーク解消



【参考】国際物流基幹ネットワークの整備状況(国際コンテナ車通行支障区間)

国際物流基幹ネットワーク



**国道250号  
網干大橋(耐荷重不足)**

事業：国道250号網干大橋  
 事業期間：H16～H19  
 供用：H19年7月31日  
 ホトルネットの解消：H19年12月

補強工事完了後の網干大橋



**府道大阪中央環状線  
鳥飼大橋(耐荷重不足)**

事業：府道大阪中央環状線鳥飼大橋  
 事業期間：H13～H22  
 供用：H22年2月27日  
 ホトルネットの解消：H22年2月  
 ※スーパーストランド橋脚に係わるホトルネット箇所

鳥飼大橋



**国道27号  
後瀬山、勢浜、加斗トンネル  
(空間高不足)**

事業：近畿自動車道敦賀線  
 事業期間：H8～H23  
 供用：H23年7月16日  
 ホトルネットの解消：H23年7月

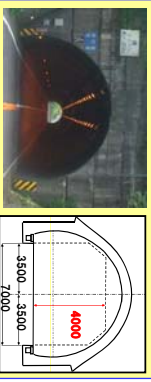
**国道161号  
足田トンネル(幅員狭小)**

事業：国道161号愛発除雪拡幅  
 事業期間：H15～H26

**国道27号  
樫トunnel(空間高不足)**

事業：国道27号美浜東バイパス  
 事業開始：H3～H21  
 供用：H21年3月29日  
 ホトルネットの解消：H21年3月

樫トunnel北側



【参考】高速道路の有効活用・機能強化について

「高速道路の有効活用・機能強化に関する計画」に基づき、平成25年6月 新規スマートインターチェンジ連結許可(三方PA、中川原、和歌山南)



- <社会実装>
  - 平成21年3月25日以前連結許可  
全国：50箇所  
うち近畿地整：1箇所
  - 平成21年6月30日以前連結許可  
全国：119箇所  
うち近畿地整：4箇所
  - 平成22年3月31日以前連結許可  
全国：8箇所  
うち近畿地整：0箇所
  - 平成24年4月17日以前連結許可  
全国：17箇所  
うち近畿地整：3箇所
  - 平成25年6月11日以前連結許可  
全国：93箇所  
うち近畿地整：3箇所
- <利便増進計画>
  - 平成21年6月30日以前連結許可  
全国：119箇所  
うち近畿地整：4箇所
  - 平成22年3月31日以前連結許可  
全国：8箇所  
うち近畿地整：0箇所
  - 平成24年4月17日以前連結許可  
全国：17箇所  
うち近畿地整：3箇所
  - 平成25年6月11日以前連結許可  
全国：93箇所  
うち近畿地整：3箇所

凡 例	事業中	供用中	今回許可箇所
高速幹線道路	■	■	■
IC等	■	■	■
IC等	■	■	■

## 【参考】環境にやさしいモーダルシフトや物流効率化の推進

- モーダルシフトによる、グリーン物流の普及・促進を図るべく、平成20年度よりグリーン物流セミナー（海運版）、（鉄道版）をそれぞれ開催。
- 平成24年度についても鉄道版セミナーを11月26日に開催、海運版セミナーを2月に開催予定。

### 関西グリーン物流パートナーシップ会議（18年1月設置）

- 目的： 関西において、物流分野におけるCO2排出削減に向けた荷主企業と物流事業者の連携、協働による取組を支援し、グリーン物流パートナーシップ推進事業の普及・促進を図る。
- 構成： 学識経験者・経済団体・荷主団体・物流団体・地方公共団体・関係機関の委員
- 会長： 長坂悦敬（甲南大学 経営学部教授）
- 事務局： 近畿運輸局・神戸運輸監理部・近畿経済産業局



### グリーン物流セミナー

荷主企業、物流事業者向けに、海運・鉄道へのモーダルシフト推進をテーマとした「グリーン物流セミナー」を開催。

- 鉄道版 平成24年11月26日開催 参加人数：78団体、132名

